

平成27年度 県立高等学校における長期欠席（不登校）の状況等

1 概要（表1・表2・表5・表6参照）

- 平成27年度の県立高等学校における長期欠席生徒数は1,121人で、全日制は531人、定時制は590人。理由別では「病気」が150人、「経済的理由」30人、「不登校」が584人、「その他」が357人。
- 不登校生徒数は、平成26年度と比較して2人減少。（前年度比0.3%減）
（全日制371人（前年度比14人増）、定時制213人（前年度比16人減））

（表1）理由別長期欠席者の状況

| | | 在籍者数 (平成27年5月1日現在) | 理由別長期欠席者数 | | | | 計 | 不登校生徒の 割合(%) |
|-----|-----|-----------------------|-----------|-------|-----|-----|-------|-----------------|
| | | | 病気 | 経済的理由 | 不登校 | その他 | | |
| H26 | 全日制 | 37,734 | 108 | 2 | 357 | 56 | 523 | 0.95 |
| | 定時制 | 1,947 | 22 | 13 | 229 | 130 | 394 | 11.76 |
| | 合計 | 39,681 | 130 | 15 | 586 | 186 | 917 | 1.48 |
| H27 | 全日制 | 37,435 | 109 | 1 | 371 | 50 | 531 | 0.99 |
| | 定時制 | 1,889 | 41 | 29 | 213 | 307 | 590 | 11.28 |
| | 合計 | 39,324 | 150 | 30 | 584 | 357 | 1,121 | 1.49 |

- 単位制を除く全日制における不登校生徒数のうち、学年別では2年生の125人が最多。（出現率1.29%）定時制においては、不登校生徒のうち、前年度不登校経験のある生徒の構成比は73.2%。
- 1000人あたりの不登校生徒数は、14.9人。（前年度比0.1人増）不登校生徒のうち、90日以上欠席している生徒数は、171人で、全体の29.3%。（全日制68人、定時制103人）

2 不登校の要因と考えられる状況（複数回答：表4参照）

- 分類別生徒数は、全定ともに「ウ『無気力』の傾向がある」（全日制129人、定時制93人）が最多で、そのうち最も多い区分は、全日制は「I家庭に係る状況」（32人）、定時制は「D学業の不振」（33人）。
- 次に多い分類別生徒数は、全日制が「エ『不安』の傾向がある」（87人）、定時制が「イ『あそび・非行』の傾向がある」（37人）で、そのうち最も多い区分は、全日制は「D学業の不振」（33人）、定時制は「I家庭に係る状況」。（18人）

3 不登校児童生徒に対して特に効果のあった学校の措置（複数回答：表3参照）

「指導の結果登校する又はできるようになった生徒」中、特に効果のあった学校の措置は、「家庭訪問を行い、学業や生活面での相談にのるなど様々な指導・援助を行った」（全定計：23校）で、次に効果のあった学校の措置は、「登校を促すため、電話をかけたリ迎えに行くなどした」（全定計：21校）（「効果のあった学校の措置」に係る調査については、県独自で調査したもの。）

4 専門的な相談・指導を受けた学校内外の機関等（表7-1, 7-2参照）

- 学校内、学校外で担任以外の専門的な相談・指導を受けている生徒の実人数は、全日制252人、定時制42人。
- 学校内においては、「スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた」（全日制127人、定時制15人）が最多。
- 学校外においては、「病院、診療所」（全日制70人、定時制12人）が最多。

5 不登校生徒のうち、中途退学・原級留置になった生徒数（表8参照）

- 不登校生徒のうち、中途退学した生徒数は、全日制86人、定時制13人で、計99人。（不登校生徒数に占める割合：17.0%）
- 不登校生徒のうち、原級留置した生徒数は、全日制44人、定時制3人で、計47人。（不登校生徒数に占める割合：8.0%）